

仙台市介護保険審議会 地域包括支援センター運営委員会
(第7期計画期間 第6回会議) 議事録

日時：令和元年11月28日(木) 17:00~18:00

場所：仙台市役所2階 第一委員会室

〈出席者〉

【委員】

井野一弘委員長、岩渕秀子委員、大内修道委員、駒井伸也委員、佐藤功子委員、鈴木峻委員、長野正裕委員、森高広委員、若生栄子委員 以上9名、五十音順

【仙台市職員】

郷家保険高齢部長、白岩高齢企画課長、松本地域包括ケア推進課長、千葉地域包括ケア推進課認知症対策担当課長、中村介護保険課長、岩瀬介護事業支援課長、高橋地域包括ケア推進課主幹兼推進係長

〈議事要旨〉

1 開会

- ・ 会議を公開とすること及び資料の一部(参考資料)につき仙台市情報公開条例第7条第5号に該当することとして非公開とすることの確認→異議なし
- ・ 議事録署名委員について鈴木峻委員に依頼→鈴木峻委員了承

2 報告

- (1) 地域包括支援センターの事務所移転等について
松本地域包括ケア推進課長から説明(資料1)

【質疑応答】

森委員：本来配置されるべき「基本配置+機能強化」の人数が、実際に配置されている「三職種+機能強化」の人数により満たされていないセンターが、1月では3センター、6月は7センター、今回の11月は8センターと遡増している。異動等で一時的なものなのか、長期的に欠員の状況になっているのか、何か原因はあるのか。

あるセンターについては1月からずっと未充足の状態であると思われる。どのセンターも事務量が多く人員不足で大変であるという話を聞いており、やはり三職種が揃って効果を発揮できるものと思う。人材がいなかったり様々な理由もあると思うが、充足した状態で運営していけるよう指導した方がいいのでは

ないか。

松本課長：木町通については、「基本配置＋機能強化」の人数が4であるところ職員総数は3.5、大沢広陵については、「基本配置＋機能強化」の人数が4であるところ職員総数は3となっており、11月1日時点で「基本配置＋機能強化」の人数に対して職員総数が足りていない。これらについては、受託法人に速やかに職員の補充を依頼しており、木町通については12月1日付で欠員が解消される見込みであり、大沢広陵については職員の募集をかけているところである。

欠員が生じた場合、速やかに補充するよう依頼しており、受託法人内の異動で補ったり、新規に採用したりといったことをしている。しかし、比較的郊外に位置するセンターでは、なかなか応募がない。特に保健師が集まらないといったことがあり、人材確保に苦労している。保健師についてはそれに準ずる看護師を充てることのできることで、保健師に準ずる者として看護師を採用しているセンターもある。

市としても引き続き三職種が揃うよう指導していきたい。

(2) 令和元年度地域包括支援センター事業評価及び指導の結果について

松本地域包括ケア推進課長、岩瀬介護事業支援課長から説明（資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料2-4、参考資料、資料3）

【質疑応答】

森委員：資料3について3点質問する。事業所の選定について、前回は事業評価Ⅱの対象から選定すると明記されていたが、今回「Ⅱ」が明記されていないのはなぜか。また、実施方法について、センターが提出する介護予防サービス計画書の件数が「2～3件」と具体的になったこと、指導項目の「3 運営に関する基準」が前回から全く変わっていること、これらの理由を教えてください。

岩瀬課長：前回の実施以降、文言の整理を行っているところであるが、実際の内容については変わったものはない。

森委員：前回は「管理者としての責務を果たしているか」という項目があった。センターは小さな組織であるから、管理者の方針や考え方によってセンターが進むべき方向が違ってくると思う。そういう意味で、管理者が仙台市の事業計画というものを理解・把握して運営しているかということが非常に重要なことだと思う。それで今回、指導項目から外したのはいかなるものかと思ったところだ。

岩瀬課長：指導項目自体がなくなっているわけではない。

森 委 員：そういうことであればよい。

若生委員：資料 2-4 の認知症関連業務の中に「帰宅困難になった認知症の方の捜索訓練（見守り訓練）」とあるが、地域の方々の中に警察は入っているのか。仙台市から警察と連携するといったことは求めているのか。

松本課長：センター独自の取組みとして地域の交番の方々との関係作りを行っているところもあると聞いている。仙台市としては、警察と連携することまでは求めている。

若生委員：地域の方々が認知症の方を見つけ、警察に通報し、警察が事情聴取して家族に引渡しを行うという事例もあった。通報や引渡しというのは、認知症の方やその家族も傷つくものであるので、警察にも理解を深めてもらえるような取組みを警察と連携して行ってほしいと思う。センターの集まりの場などで周知してもらいたい。

松本課長：センターの職員を対象とした研修があるので、そういった場で周知していきたい。

駒井委員：資料 2-4 の中に認知症ケアパス作成の事例や「地域との関係作りが難しい地区での地域版認知症ケアパスの作成をきっかけに」といった事例があり、認知症ケアパスは地域包括ケアを推進するうえで非常に有効になってくると思う。現在、地域版認知症ケアパスの作成はどの程度進んでいるのか。

千葉課長：52 センター全てで作られており、ホームページでも見られるようになっているので、ぜひご覧いただきたい。

3 議事

- (1) 令和2年度地域包括支援センター設置運営事業の委託について
松本地域包括ケア推進課長から説明（資料 4）

【質疑応答】

井野委員長：ただ今の説明について意見や質問はないか。

(意見・質問なし)

井野委員長：質問等がなければ「令和2年度地域包括支援センター設置運営事業の委託について」は承認としてよろしいか。

(一同了承)

井野委員長：それでは、当議案を承認とする。

4 その他

なし

5 閉会